

2013年6月2日

会員各位

2013年度 日本社会関連会計学会東日本都会のご案内

拝啓 初夏の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、裏面記載の要領で、2013年7月6日(土)に、2013年度日本社会関連会計学会東日本部会を苫小牧駒海大学において開催することとなりました。会員の皆様には、万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、今回の東日本部会におきましては、部会開催に先立ちまして、経済産業省によって決定されたCCS(二酸化炭素回収・貯留)実証試験の現場視察会を、別紙の要領で実施いたします。ただし、CCS実証試験の現場視察会に際しては、参加者の定員を30名までとさせていただきますと同時に、大変恐縮ですが、先着順とさせていただきます。

東日本部会にご参加いただけます場合には、お手数ですが、CCS実証試験の現場視察会および総親会へのご参加の出欠を、同封の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、6月21日(金)までにご返信いただきますようお願い申し上げます。下記の川島宛のメールでも結構です。

参加費につきましては、東日本部会1,000円、CCS実証試験の現場視察会2,000円(昼食のお弁当代込み)、懇親会費4,000円となります。会費は、当日の大学受付にてお支払いをお願い申し上げます。領収書は当日お渡しいたします。

なお、大学内の食堂は土曜・日曜・祝日は営業していません。昼食は苫小牧駅周辺にてお済ませになり、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

会員の皆様の多数のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

2013年度目:本社会関連会計学会東日本部会
実行委員長川島和浩(苫小牧駒澤大学)

【お問い合わせ先】

〒059・1292 苫小牧市錦岡 521-293

苫小牧駒澤大学川島和浩研究室

Tel 0144-61-3264 (直通)

携帯 090-2056-4082

Fax 0144-61-3333 (大学)

E-mail : kz03691@e.t-komazawa.ac.jp

2013年度 日本社会関連会計学会東日本部会プログラム

- 日程:2013年7月6日(土) 受付開始13時30分~
- 場所:
 - ・大会会場 苫小牧駒澤大学 1F C102 教室 14時30分~17時30分
 - ・懇親会場 グランドホテルニュー王子 (16F グランビュー) 18時30分~20時00分

開会の挨拶 14時30分~14時40分

学 会 長 郡司 健 (大阪学院大学)
東日本部会長 湯田 雅夫 (濁協大学)
実行委員長 川島 和浩 (苫小牧駒澤大学)

研究報告 (報告25分、質疑5分)

第1報告司会: 勝山進 (日本大学)

第1報告 14時40分~15時10分

筑波 由美子 (亜細亜大学大学院生)

「統合報告における環境会計情報に関する一考察
—財務情報と非財務情報の関連性を中心として—」

第2報告・第3報告 司会: 黒川保美 (専修大学)

第2報告 15時10分~15時40分

鹿谷 麻里子 (亜細亜大学大学院生)・大島 正克 (亜細亜大学)

「排出権取引における国際炭素行動パートナーシップ (ICAP) との連携
—地球環境の実態へのリンク—」

第3報告 15時40分~16時10分

仲 伯維 (亜細亜大学大学院生)・大島 正克 (亜細亜大学)

「中国における排出権取引の会計上の処理について」

休憩 16時10分~16時25分 (15分間)

第4報告・第5報告 司会: 大原昌明 (北星学園大学)

第4報告 16時25分~16時55分

吉田 武史 (横浜商科大学)

「福島原発事故後におけるソーシャルコストの計算と開示の意義」

第5報告 16時55分~17時25分

長岡 正 (札幌学院大学)

「物流原価計算の課題」

閉会の挨拶 17時25分~17時30分

顧問理事 石崎 忠司 (中央大学)

懇親会 18時30分~20時00分 グランドホテルニュー王子 (16F グランビュー)

※17時40分発の貸切バスにて、苫小牧駒澤大学から懇親会場へ移動 (18時15分到着予定)